



**2016年6月18日
第43回 定時株主総会
事業報告**

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

- 1. 2015年度業績**
- 2. 市場とビジネスモデル**
- 3. 中期経営計画の主な取り組み**
- 4. 2016年度計画**
- 5. 中期経営計画の数値目標**

1. 2015年度業績

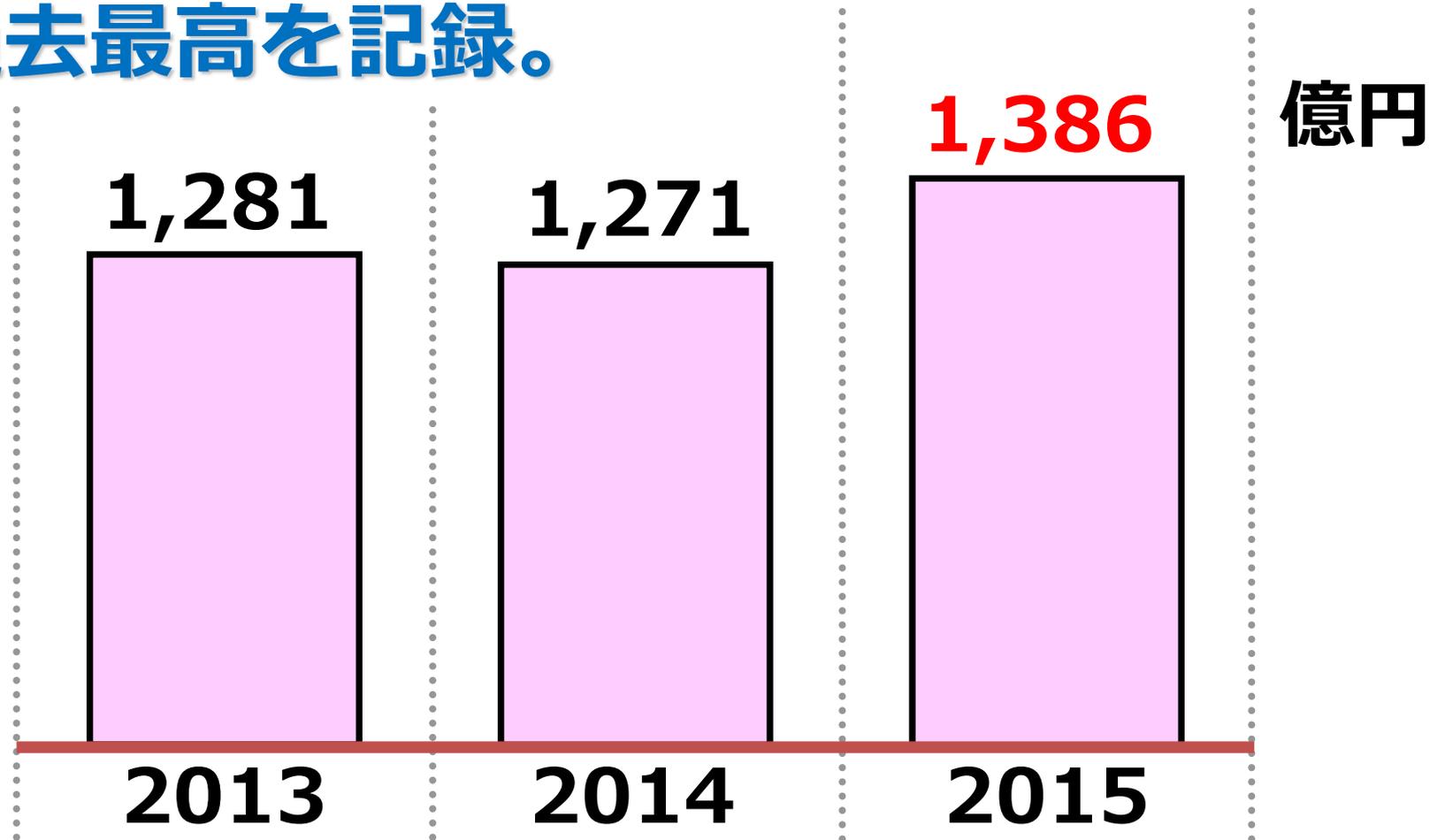


- ▶ **1. 2015年度業績**
- 2. 市場とビジネスモデル
- 3. 中期経営計画の主な取り組み
- 4. 2016年度計画
- 5. 中期経営計画の数値目標

1. 2015年度業績 ①売上高



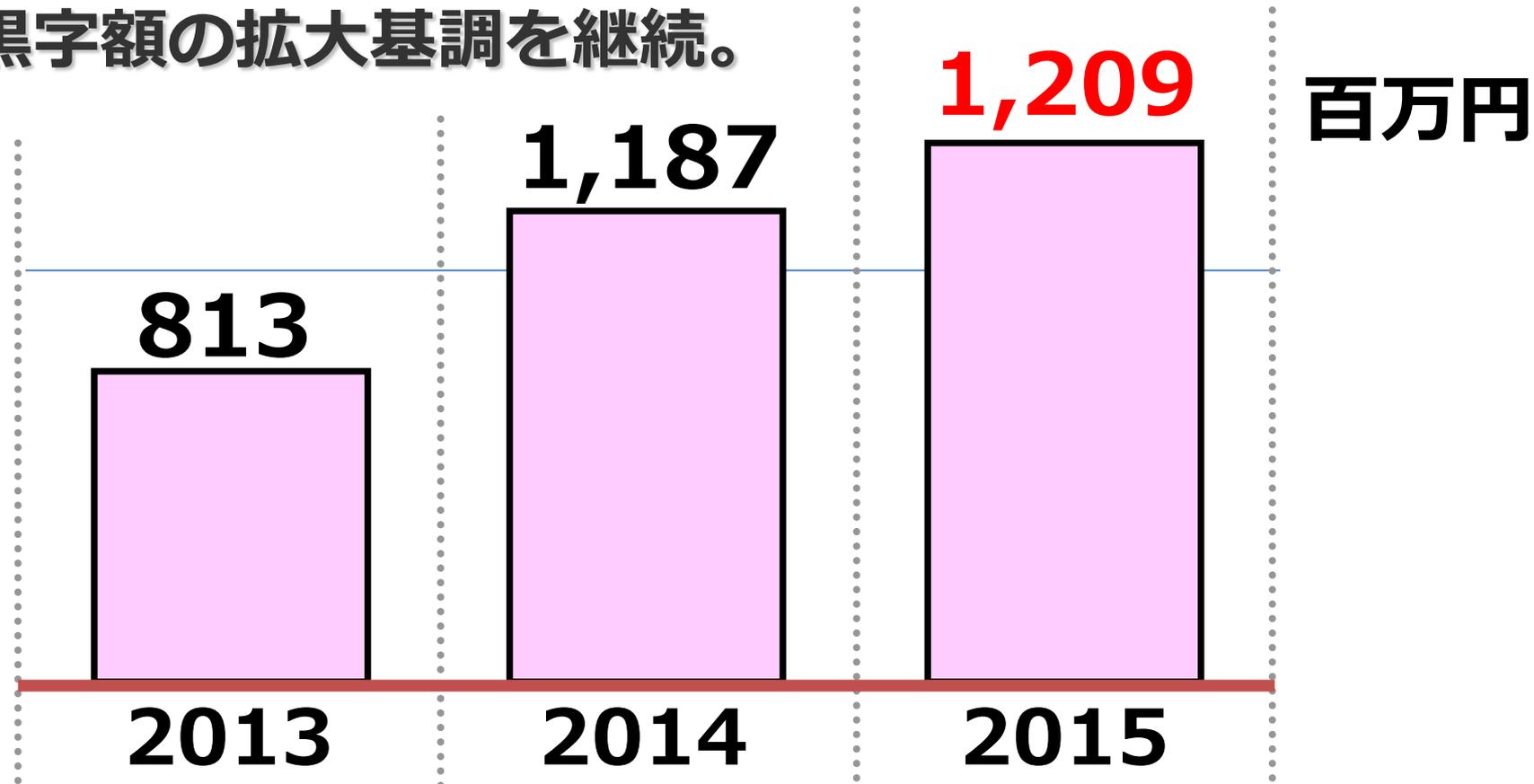
売上高は、チケット流通事業の好調を受け、
期初予想を116億円以上、大幅に上回る形で伸長。
過去最高を記録。



1. 2015年度業績 ②当期利益



営業利益・経常利益・当期利益^(※)ともに、
前期、及び期初予想を上回る**増益**で着地。
黒字額の拡大基調を継続。

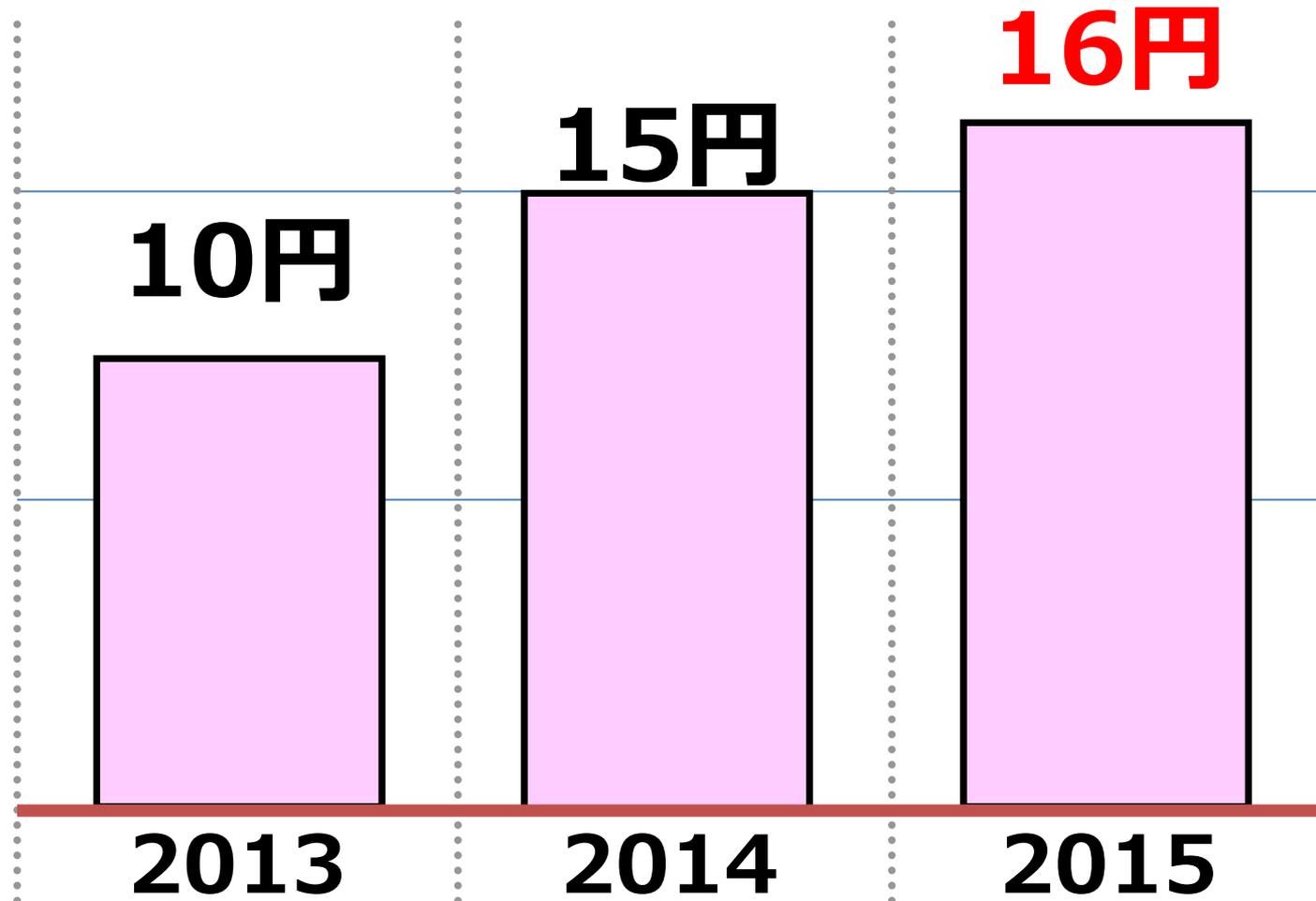


(※)親会社株主に帰属する当期純利益

1. 2015年度業績 ③配当



16円の配当。期初予想から1円の増額。



1. 2015年度業績 ④達成要因



計画達成の要因

- 1) 堅調なライブ・エンタテインメント市場
: スポーツを中心に、全てのジャンルで市場好調継続
- 2) インターネットチャネルの伸長
: ユーザビリティ改善、サーバ処理能力向上等も寄与
- 3) 出資参画の拡大と、中規模興行の積み上げ
: 主催、出資興行の拡大と、前年の大型来日興行に代わる中規模興行の積み上げ
- 4) アライアンス戦略の推進
: F&Iグループ、KDDI(株)との提携が順調に拡大

1. 2015年度業績 ⑤ 予想差



チケット流通事業がスポーツを中心に全ジャンルで伸長し、期初予想から、売上高・営業利益・経常利益・当期利益ともに良化。

【連結】 期初予想との比較

百万円

	期初予想 (昨年5/14発表)	業績修正 (4/28発表)	2015年度 実績	期初予想との差
売上高	127,000	138,000	138,624	+11,624 良化↑
営業利益	1,200	1,500	1,527	+327 良化↑
経常利益	1,200	1,450	1,472	+272 良化↑
当期利益※	1,000	1,150	1,209	+209 良化↑

※親会社株主に帰属する当期純利益です。

1. 2015年度業績 ⑥前年比較



野球、サッカー、大相撲を中心に、スポーツ市場が好調に推移。インターネット販売の伸長を受けて、売上、営業利益、経常利益、当期利益ともに増加。

【連結】前年比較

百万円

	前年度	2015年度	前年比
売上高	127,145	138,624	+ 9.0%
営業利益	1,270	1,527	+ 20.2%
経常利益	1,285	1,472	+ 14.6%
当期利益 ※	1,187	1,209	+ 1.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益です。

1. 業績 ⑦連結損益計算書



単位/百万円

	【前年度】	【2015年度】	【前年度差】
売上高	127,145	138,624	+11,478
売上原価	116,034	126,858	+ 10,823
※差引売上総利益	11,110	11,765	+654
販管費	9,839	10,238	+398
営業利益	1,270	1,527	+256
営業外収益	33	19	△14
営業外費用	19	73	+54
経常利益	1,285	1,472	+187
税引き前当期純利益	1,289	1,446	+156
法人税等合計及び非支配株主利益	102	237	+135
※親会社株主に帰属する当期純利益	1,187	1,209	+22
包括利益	1,237	1,196	△ 41

1. 業績 ⑧ 連結貸借対照表



単位/百万円

資産の部		
	【前年度】	【2015年度】
※ 現預金	13,120	15,110
※ 売掛金等	13,695	15,653
商品等	135	169
その他	1,570	1,794
流動資産:前年度比4,206増加		
流動資産	28,521	32,728
有形固定	301	412
無形固定	1,255	1,304
投資その他	1,474	1,503
固定資産:前年度比188増加		
固定資産	3,031	3,220
資産合計	31,553	35,948

負債の部		
	【前年度】	【2015年度】
流動負債:前年度比3,063増加		
流動負債	24,588	27,651
固定負債	753	656
負債合計	25,341	28,307
純資産の部		
資本金	4,239	4,612
資本剰余金	402	775
利益剰余金	1,619	2,617
自己株式	△61	△361
他包括利益	△43	△62
非支配株主持分	52	58
純資産合計	6,211	7,640
負債純資産合計	31,553	35,948

1. 業績 ⑨連結キャッシュ・フロー



	【前年】	【2015年度】	【前年度比】 単位/百万円
税引き前当期利益	1,289	1,446	+ 156
減価償却費	491	530	+ 39
売上債権の増減	741	△ 1,958	△ 2,700
仕入債務の増減	△3,314	2,467	+ 5,781
その他	△285	468	+ 754
利息・税金等	△121	△180	△59
※ 営業キャッシュ・フロー	△1,198	2,773	+3,972
無形固定資産の取得	△523	△524	△0
その他	△543	△307	+236
※ 投資キャッシュ・フロー	△1,067	△831	+235
※ 財務キャッシュ・フロー	△906	47	+ 953
キャッシュの増減	△3,172	1,989	現預金15,110百万円

2. 市場とビジネスモデル



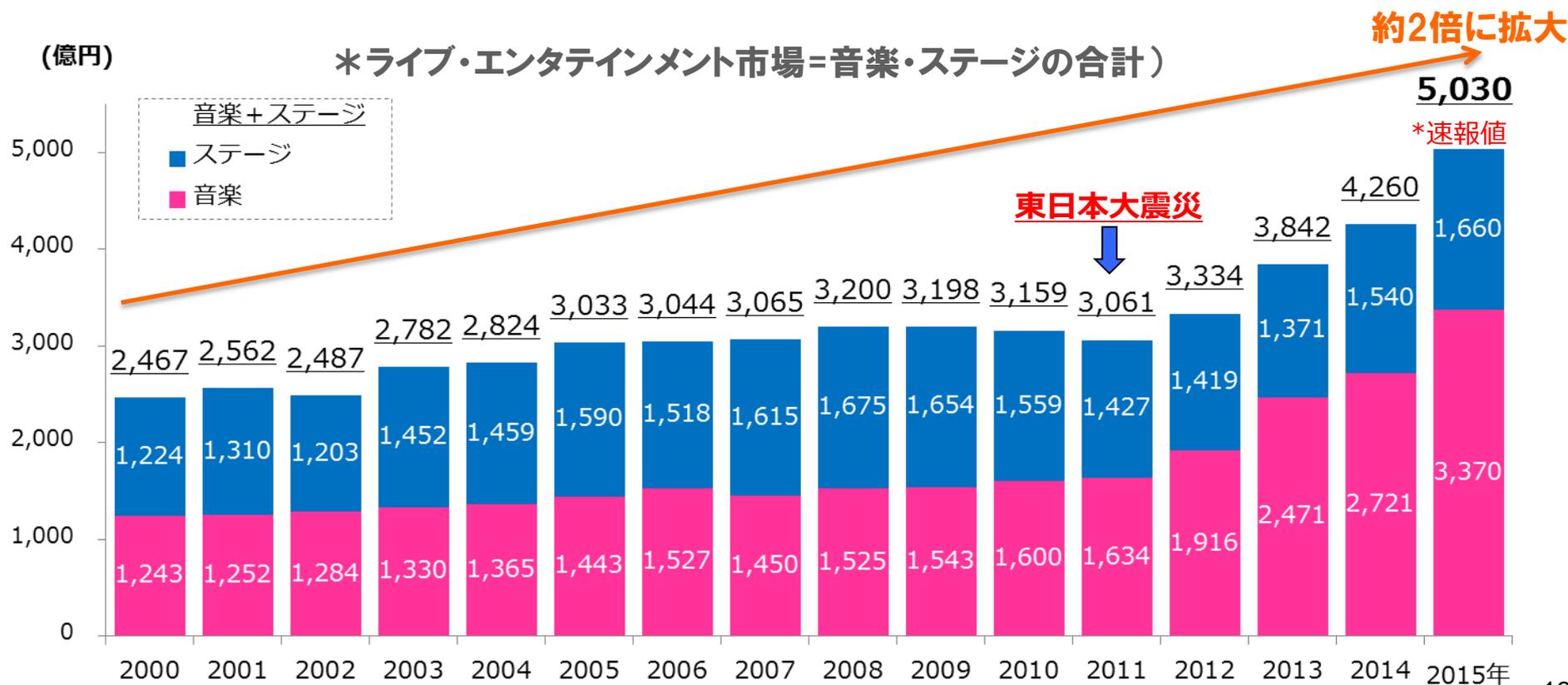
1. 2015年度業績
- ▶ 2. 市場とビジネスモデル
3. 中期経営計画の主な取り組み
4. 2016年度計画
5. 中期経営計画の数値目標

2. 市場とビジネスモデル



① ライブ・エンタテインメント市場の推移【ぴあ総研調べ】

- 統計をとりはじめた2000年以降の過去最高記録を**4年連続で更新**
- 2015年までに、ライブ・エンタテインメント市場は**2倍に拡大**



2. 市場とビジネスモデル



②ぴあのビジネスモデル

▶基幹プラットフォーム

- ・インターネット
- ・コンビニエンスストア
- ・電話/店舗/会員サービス



▶システム提供/ 集客業務支援

- ・興行主催者/チーム/劇団
- ・ホール/劇場/スタジアム
- ・テレビ局/プロダクション



▶ソフトコンテンツ創出

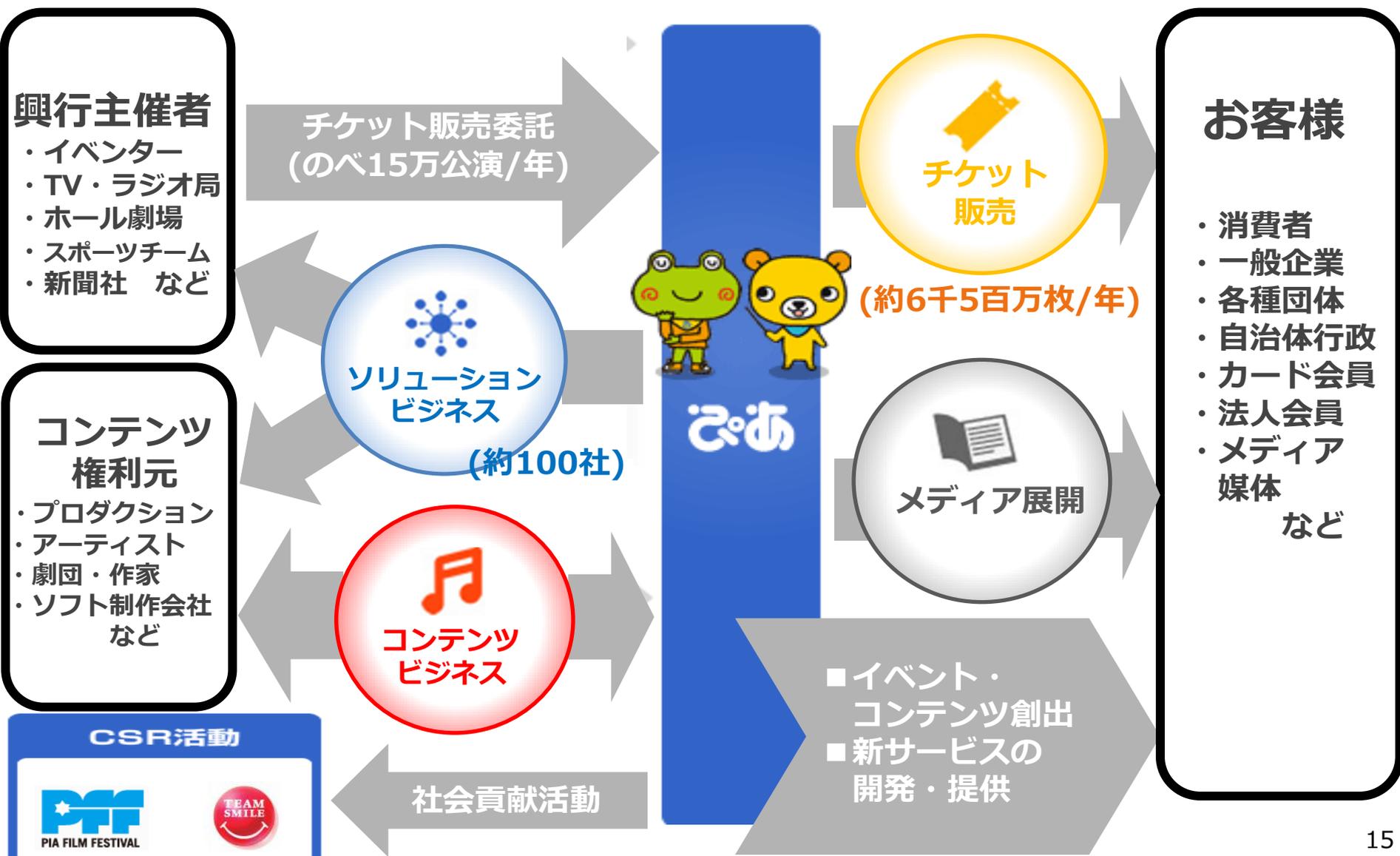
- ・イベント主催/出資/企画
- ・商品企画/ライツビジネス



▶情報コンテンツ配信

- ・デジタルメディア
- ・ポータルサイト/SNS
- ・雑誌/MOOK/書籍

2. 市場とビジネスモデル



3. 主な取り組み

1. 2015年度業績
2. 市場とビジネスモデル
- ▶ 3. **中期経営計画の主な取り組み**
4. 2016年度計画
5. 中期経営計画の数値目標

3. 主な取り組み



中期経営計画（2015～2017年度）の骨子

①既存事業の安定的な成長

チケット流通を軸としたぴあのプラットフォームを継続的に強化し、よりお客様に支持されるチケットサービスを展開する。

②メディア・コンテンツビジネスへの取り組み強化

当社グループの強みを生かし、興行・イベントあるいはその関連商品・メディアの作り手としての事業に取り組む。

③チケットサービスとメディア・コンテンツビジネスの融合

チケットぴあのプラットフォームと、新たな取り組みによるコンテンツ創造の両軸により、コンテンツ供給からユーザー体験までをトータルに提供できる独自性のあるビジネスモデルの創出を目指す。

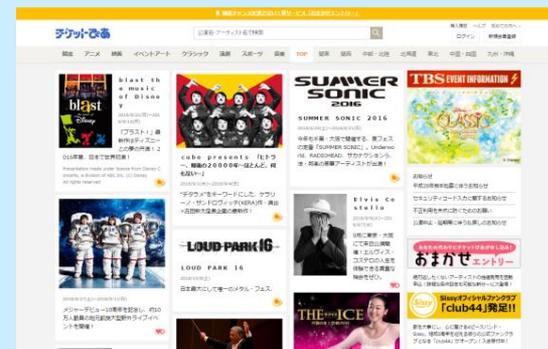
3. 主な取り組み



① 既存事業の安定的な成長

チケット流通を軸としたぴあのサービス・プラットフォームの強化を目指し、お客様に支持をされるチケットサービスを展開

◆チケットぴあWebサイトをリニューアル
スマートフォンで使いやすい、レスポンシブデザインに変更、スマートフォンでの利便性を向上
⇒2015年度、スマートフォンからのチケット購入金額が、PCからの購入金額を逆転



◆新サービス「おまかせエントリー」開始
「ぴあポイント」「定価リセール」に続き、競合との差別化を拡充

すぐできる
簡単！
2STEP!!

あなたのお気に入り
アーティストを登録



開催日時・場所等
詳細な条件で設定可能

- APRIL
- TOKYO
- ROCK

事前に「行きたい公演」の条件を設定しておく、抽選発売に“当選するまで”自動で申し込みができる機能

3. 主な取り組み



① 既存事業の安定的な成長

ホール・劇場、スポーツ業界団体、スポーツチーム、劇団、TV局、人気施設等にチケットングシステムを提供する、ソリューション事業を拡充

◆スポーツソリューション

チケット販売から会員組織までをぴあが管理し、団体やチームと一体となったマーケティングを実施。

● オフィシャルチケットングパートナーとして提携



日本相撲協会



日本プロサッカーリーグ (Jリーグ)



日本ラグビー協会



日本サッカー協会

● チームの会員管理、チケット販売、グッズ販売等を支援



横浜F・マリノス



横浜DeNAベイスターズ



名古屋グランパスエイト



ヤクルトスワローズ



セレッソ大阪

◆その他の代表的なソリューション提携先

● Jリーグ/プロ野球チーム

【Jリーグ】

- ・浦和レッズ
- ・横浜Fマリノス
- ・サガン鳥栖
- ・鹿島アントラーズ
- ・名古屋グランパスエイト
- ・セレッソ大阪 他

【プロ野球】

- ・ソフトバンクホークス
- ・阪神タイガース
- ・東京ヤクルトスワローズ
- ・横浜DeNAベイスターズ
- ・中日ドラゴンズ 他

● ホール・劇場・施設

- ・新国立劇場
- ・梅田芸術劇場
- ・東京国際フォーラム
- ・サントリーホール
- ・東京スカイツリー
- ・あべのハルカス 他

● 劇団・TV局など

- ・キャラメルボックス
- ・フジテレビジョン 他



東京スカイツリー



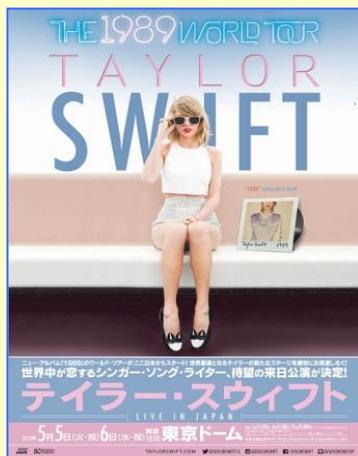
あべのハルカス 19

3. 主な取り組み



②メディア・コンテンツビジネスの強化(1/3)

主催（共催／出資）興行を拡大。話題の公演にも出資参画



◆テイラー・スウィフト



◆ブロードウェイ・ミュージカル
「天使にラブ・ソングを…」



◆マグリット展



◆リアル脱出ゲーム×ONE PIECE
第二弾「頂上戦争からの脱出」

©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



◆TOKYO METROPOLITAN ROCK
FESTIVAL 2015

©METROCK 2015 All Rights Reserved



◆Dortmund Asia Tour 2015
川崎フロンターレ vs ボルシア・ドルトムント



◆大相撲夏巡業 仙台場所

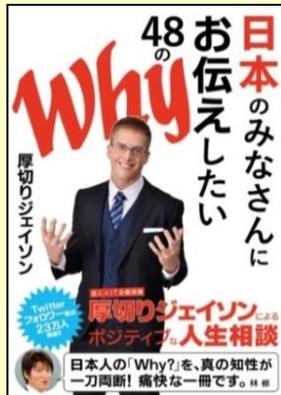
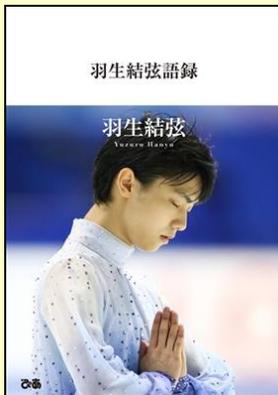
3. 主な取り組み



②メディア・コンテンツビジネスの強化(2/3)

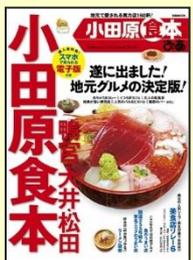
エンタテインメント、レジャー領域で話題のコンテンツをメディア化

◆エンタテインメント関連本のヒット商品



◆五郎丸語録 ◆羽生結弦語録 ◆厚切りジェイソン語録 ◆ゲーム「スプラトゥーン」 ◆ポムポムプリン ◆真田幸村ぴあ

◆レジャーMOOKも堅調



◆食本シリーズ(合計80タイトルを刊行)

◆絶景さんぽ旅

●話題のテーマをイベント&MOOK化

横浜で「パンのフェス」を初開催。
3日間で12万人の動員に成功



3. 主な取り組み



②メディア・コンテンツビジネスの強化(3/3)

業務資本提携先とのコラボレーションを引き続き強化



◆KDDI

- auスマートパス会員向けに運営するエンタテインメントサイト



各種ライブイベントを開催し連携を強化



◆エンタテインメントサイト「uP!!!」

- 新人ライブイベント「uP!!!NEXT」



- ぴあ×KDDI、スペースシャワーTVによる音楽イベント「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC」

◆7&iグループ

- 話題の公演への共同参画



◆ロッキンジャパンフェス

- フリーペーパー『7ぴあ』
- 店頭プロモーション運動



- PB商品、キャンペーン展開



◆Mr. Children



3. 主な取り組み

③ チケットサービスとコンテンツビジネスの融合



コンテンツ供給からユーザー体験までをトータルに提供



3. 主な取り組み

③ その他の新サービス



● 「ファンクラブサービス」の本格化

ぴあの仕組み、システム、ノウハウを活用し、アーティストのファンクラブの運営を受託



◆ Twinkle ICE Members



◆ 原宿駅前ステージ ランウェイ・メンバーズ

● エンタメ施設の廃材再生ビジネス

廃材をメモリアルグッズに甦らせ、チケットぴあのシステムを活用して受注販売



ホテルオークラの調度品や備品を、アクセサリや雑貨に再生

国立競技場の自由席ベンチシートを、デザイナーズチェアに再生



● 書店とイベントの連動プロジェクト

ぴあ主催イベントと書店店頭との連携により、相互送客と増売を目指し、トータル共同企画を展開



◆ 大昆虫展



◆ 暁のヨナ

● 日本コンテンツの輸出ビジネス

ぴあグローバルエンタテインメント株式会社を2015年秋に設立



2014年12月に設立した「ぴあ希肯（北京ぴあ希肯国際文化発展有限公司）」を窓口として、日本のコンテンツホルダーによる中国での興行展開をサポートしていくために設立



3. 主な取り組み

④ CSR活動



一般社団法人チームスマイルによる復興支援活動

東日本大震災の発生以来、エンタテインメントによる継続的な復興支援を目指して活動をスタート。今年3月に「仙台PIT」がオープンし、4つの活動拠点が完成。いよいよ各拠点での様々な活動が本格化。



2014年10月OPENの「豊洲PIT」は、順調に稼働中



【NEW OPEN】
2015年7月24日
「いわきPIT」



【NEW OPEN】
2016年1月9日
「釜石PIT」



【NEW OPEN】
2016年3月11日
「仙台PIT」



プリンセス プリンセスが、3億1千万円を「仙台PIT」に寄付

◀ 仙台PITのこけら落とし公演はプリンセスプリンセス。

豊洲PITの来場者からの寄付金で運営される「“わたしの夢”応援プロジェクト」。第一弾は、有森裕子さんの特別講演会を福島「いわきPIT」で5/5に開催

<http://www.team-smile.org/>

チームスマイル presents
「わたしの夢」応援プロジェクト vol.1

有森 裕子

talks about her life.

「思いは強く。夢はかなう。」

女優・一般社団法人チームスマイル
「わたしの夢」応援プロジェクト実行委員会 代表理事

いづれは、自費リポートの制作サポートを要す。
「はじめて」と、誰かが背中を押す。
さらさらと流れる涙が、涙腺を刺激する。
涙腺がこぼれ、涙が頬を伝う。
「あつた」の「夢」を「夢」に。
「あつた」の「夢」を「夢」に。
「あつた」の「夢」を「夢」に。

入場無料(自由席) 事前申込み制(限定200名) ※当日券はなくなり次第終了 ※10歳未満は無料 ※10歳以上19歳未満は1000円 ※20歳以上29歳未満は1500円 ※30歳以上は2000円	日時 2016年 5月5日 【水・祝】 15:00開場 15:30開演	会場 いわきPIT 〒970-0001 福島県いわき市 いわきPIT
---	--	---

「わたしの夢」応援プロジェクトは、チームスマイルが主催する被災地支援活動です。被災地での復興支援活動の一環として、被災地での講演会を開催しています。

3. 主な取り組み

④ CSR活動ほか



第37回PFF・ぴあフィルムフェスティバルを開催 <http://pff.jp/>

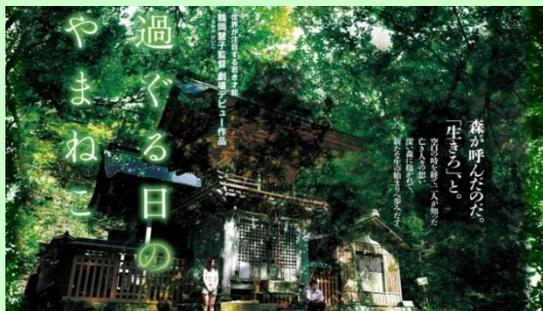


若手映画監督の登竜門として定着、石井聰互、手塚真、松岡錠司、園子温、橋口亮輔、塚本晋也、中村義洋、熊切和嘉、李相日、石井裕也など、すでに110人以上のプロの監督を輩出。

PFFアワード2015グランプリ作品「あるみち」が東京国際映画祭で上映。ベルリン国際映画祭へも正式出品



鶴岡慧子監督の第23回PFFスカラシップ作品「過ぐる日のやまねこ」が、マラケシュ国際映画祭で審査員賞を受賞。



ぴあ個人株主懇談会開催

- 2015年11月：
関西圏在住の方を対象に大阪にて開催
- 2016年2月：
九州圏在住の方を対象に福岡にて開催



じゃんけん大会



社員との懇談会

4. 2016年度 計画



1. 2015年度 業績
2. 市場とビジネスモデル
3. 中期経営計画の主な取り組み
- ▶ 4. 2016年度 計画
5. 中期経営計画の数値目標

4. 2016年度 計画

中期経営計画の2年度目。新たなコンテンツ創出や周辺事業の強化に向けた、チャレンジの年。

百万円

【連結PL】	上期		通期	
	【2015年度】	【2016予想】	【2015年度】	【2016予想】
売上高	74,587	70,000	138,624	140,000
営業利益	842	750	1,527	1,500
経常利益	814	700	1,472	1,400
当期利益 [※]	680	600	1,209	1,200
1株あたり配当金	—	—	16.00円	16.00円

※親会社株主に帰属する当期純利益です。

5. 中期経営計画の数値目標

1. 2015年度業績
2. 市場とビジネスモデル
3. 中期経営計画の主な取り組み
4. 2016年度計画
- ▶ 5. 中期経営計画の数値目標

5. 中期経営計画の数値目標



【連結ベース】

億円

	2015年度 計画	2015年度 実績	2016年度 計画	2017年度 計画
売上高	1,270	1,386	1,400	1,400
営業利益	12	15.2	15	18
経常利益	12	14.7	14	18
税前当期利益	12	14.4	14	18
当期利益※	10	12.0	12	12
償却前営業利益	21	20.5	22	28
ROE(%)	14.3	15.8	14.7	15.0

※親会社株主に帰属する当期純利益



ありがとうございました。